

令和元年度第3回 瑞穂町図書館協議会会議録

- 1 日 時 令和元年12月18日(水) 18:00～19:15
- 2 場 所 瑞穂町図書館3階
- 3 出席者 会長 関谷 忠 副会長 高島 朝子
委員 南方 孝之、篠原 政一、吉良 明美、志村 武保、吉岡 莉恵子、
鳥居 智子
町 町田図書館長、小林図書館図書係長、西村図書館図書係主任
- 4 欠席者 なし
- 5 議 題 (1) 第2回瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール結果報告
(2) 瑞穂町図書館改修事業について
(3) 第三次子ども読書活動推進計画について
(4) その他
- 6 傍聴者 なし
- 7 配布資料 次第、資料1～4
- 8 会議内容

事務局 (配布資料確認)

町田館長 開会挨拶

関谷会長 挨拶

議題(1) 第2回瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール結果報告

(資料1)

関谷会長 事務局からの説明をお願いします。

事務局 昨年の第1回コンクールでは応募が小学生部門のみでしたが、今年の第2回コンクールは、小学生、中学生、高校生、大人の全4部門に作品の応募がありました。応募数は小学生318作品、中学生4作品、高校生2作品、大人2作品で、合計326作品でした。

図書館職員4人で一次審査を行い、上位37作品を選定しました。その後、アドバイザーの小畑信夫先生の助言を頂き上位21作品を選定しました。

二次審査は10月30日に実施しました。教育部長、指導課長、図書館長に加え、図書館協議会から高島副会長に審査をお願いしました。

なお、全国コンクールに推薦できるのは応募総数の2%で、今回は7作品です。中学生、高校生、大人の部は各部門の最優秀作品を、小学生の部は最優秀賞に加え、優秀賞3作品を加えた4作品を全国大会に推薦しました。

表彰式は11月13日（水）に郷土資料館で執り行われました。

関谷会長 このことについてご意見がありましたらお願いします。

高島副会長 内容も作品もいろいろあり、楽しませていただきました。アドバイザーの小畑先生からは自分の意見があるといいという講評がありました。たくさんの本と接するチャンスなので、すごくいい取組だと思います。

関谷会長 来年度からの学習指導要領で「深い学び」が話題になっていますが、調べる学習はまさにこれに値します。また大人が参加したことが良いと感じました。

議題（2）瑞穂町図書館改修事業について

（資料2）

関谷会長 事務局からの説明をお願いします。

事務局 図書館改修に関するワークショップを3回実施しました。参加者は1回目が33人、2回目が43人、3回目が30人で、延べ106人の方にご参加いただきました。

第3回目のワークショップの冒頭でも説明しましたが、現行の建築基準法を遵守するため、3階部分と2階北側の一部を除却することになりました。3階を残す方法について検討を進めましたが、最終的な結論は「2階建て」になりました。もちろん、エレベーターの設置やトイレを含めたバリアフリー化は実施しますし、空調や書棚、閲覧席の改修なども実施します。現在は敷地を有効活用して増築することを念頭に、現在と同程度の延床面積を確保できるよう、設計者と協議を行っているところです。ワークショップの意見やテーマ配架を検討し、意見が無駄になることがないように最大限努力しています。

次にワークショップの報告です。

第1回のワークショップのテーマは「場としての図書館」「図書館でできることやりたいこと」でした。「飲食もできて誰でも気軽に利用できる居場所づくり」や「静かな場所とおしゃべりができる場所両方があればよい」という意見が各グループからありました。

第2回のワークショップのテーマは「図書館の本・資料・情報」「図書館の地域性 瑞穂町の日常」でした。「地域資料や他の人が薦める本の情報、魅力のあるCDやDVDを増やしてほしい」という意見や「自然に恵まれていることや、地場産業、高校・地元企業との連携」、「みずほ学を学んだ子供たちは大人よりもみずほについて詳しいので、子供から大人へ学びを伝える」といった意見がありました。

第3回では本の並べ方、「テーマ配架」について考えました。テーマ配架とは、今までのNDC（日本十進分類法）にとらわれず、図書館初心者でも直感的に本にたどり着けることを目的に、関連性の高いもの同士を隣接させ、資料形態にとらわれない包括的な資料の並べ方です。

テーマ配架の案としては、「出会いと別れ」「みずほ学」等いろいろな意見が出ましたが、受け身で利用するだけでなく、自分の興味や関心に沿って必要な本を集められるようなワークショップを行うという提案もあり、開館後の運用についての意見もありました。

横浜の旭区ではボランティア団体が図書館に働きかけて、積極的な活動をしているそうです。瑞穂町でも、本好きの方たちのボランティア団体が様々なイベントを企画し、テーマ配架だけでなく図書館とコラボレーションするような形が生まれればと思います。

今後は、ワークショップの内容を基本計画や基本設計に反映させていき、さらに意見募集等で住民の意見を聞きながら改修計画を進めていきます。

関谷会長 このことについて質疑があればお願いします。

関谷会長 ワークショップを欠席した方は初めて聞いた話だったのではないのでしょうか。
鳥居委員 最初に聞いたときはショックでした。

関谷会長 3階は郷土資料館で、図書館ではありませんでした。建築当時の資料はありますか。

事務局 昔の広報に写真があります。除却しますが、増築もします。ワークショップの意見を大事にした機能にしたい。不安はありますが、逆手に取っていい形で未来に残したい。

関谷会長 蔵書数が135,000から減らさざるを得ないということですが、結果的にどのくらいになりますか。

事務局 2～3万冊程度減ることが想定されます。3階閉架書庫に3万冊程度ありますので、利用者の見ただけで減ったという印象は少ないと思います。目に見えない部分が減ります。

鳥居委員 ワークショップで夢を語りました。コーヒーやおしゃべり、子どもが遊べる場所となると、面積が必要です。本が一番大事なので、あきらめていくしかないかとショックを受けました。

事務局 様々な機能はあきらめていません。利用者が入れないような部分を減らし、供用できる面積は同等か増やすことができるかもしれません。影響がないように配置等検討しています。

- 関谷会長 設計業者はプロポーザルで意欲を持つ業者が選定されました。ワークショップでの意見聴取は初めてではないでしょうか。忌憚のない意見交換は町では前代未聞だと思います。広ければいろいろなこともできますが、空間をうまく活用しバリアフリー化。トイレは段差があって怖いので、このあたりが改善されるといい図書館になるのではないのでしょうか。
- 鳥居委員 ワークショップで出た意見がすでに採用されている面もあります。
- 関谷会長 高齢者や小・中学生、他市からの参加者がいて良い会でした。期待感があるので、意見を吸い上げてやっていけばいいと感じます。
- 高島副会長 設計者はコンパクトで低コストな良い図書館を目指しているそうです。広域利用が発展しているので、広く浅くではない、特色ある図書館が実現するといいいサービスになるのではないのでしょうか。
- 事務局 利用者数や蔵書数で判断されがちですが、居場所としての図書館と考え、地域活性化、町らしさをどう出すかがポイントです。住民の知的欲求に応えていくために、今あるシステム（協力貸出、広域利用）を最大限活用していきたい。
- 鳥居委員 ネットワークを使えば数倍の蔵書を使えるとも考えられる。取り寄せられることをアピールしてはどうでしょうか。

議題（3）第三次子ども読書活動推進計画について

（資料3）

- 関谷会長 事務局からの説明をお願いします。
- 事務局 第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画のスケジュールは資料のとおりです。今回提示した「第三次子ども読書活動推進計画（案）」は、協議会や町及び関係団体の意見を反映させた修正した（案）です。
- 資料3-1が第二次計画を見直した事務局案であり、資料3-2が新旧対照表です。前回からの変更箇所は文字が緑色の部分です。
- 令和元年11月5日（火）から18日（月）までの間、図書館と各コミュニティセンターおよび町ホームページで『第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画（案）』を公表し、窓口・郵送およびメールにて意見募集を行ったところ、1件の意見提出がありました。意見の概要は、「学校の取組について、瑞穂第三小学校で放課後図書室を開放できないか」というものでした。この意見の提出者は子ども・子育て会議でも同様の要望をしており、既に調整が進んでいます。図書室の使い方は学校によって実態が異なるため、町全体の計画で位置付けてしまうのはそぐわないこと、各学校の判断で対応することで柔軟に対応できる

と考えていることから、この意見については、意見として何うに留め、第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画には反映させないこととします。

皆さまに確認していただき、意見があれば寄せてください。問題なければこの形で教育委員会に諮る予定です。

関谷会長 このことについて質疑があればお願いします。
(なし)

議題(4) その他

(資料4)

事務局 事務局から3点報告します。

図書館協議会は年4回開催予定ですが、計画に大きな変更がなければ2月か3月に延期したいと考えています。

2点目は読書講演会について、関谷会長から紹介していただいた日野多香子先生と調整し、3月28日(土)に開催する予定です。

3点目は図書館大会について、第1分科会に参加したいと考えています。

関谷会長 読書講演会ですが、再度日程調整してもらえませんか。

事務局 承知しました。

事務局 情報提供ですが、長岡コミュニティセンター図書室のクリスマス会でボランティアが人形劇をやったあと、横田基地整備群から瑞穂町の子どもたちにギフトとして洋書を贈ってくれることになりました。町長とクリスマス会に参加した子どもたちで受け取る予定です。頂いた洋書は広く貸出できるようにしたいとかがえています。

志村委員 子ども読書活動推進計画ですがp26(5)「障がいのある子どもに対するサービス」を「支援」と言い換えてはいかがでしょうか。

高島副会長 「支援」は福祉的な表現なので、サービスのほうが広く受け止められると思います。

志村委員 おまけとしてのサービスかと思いましたが、支援、奉仕ということですね。

関谷会長 支援だと上から目線な言葉とも取れます。

吉岡委員 ○○サービスという言葉は司書課程ではよく出てきます。

志村委員 図書館でサービスという言葉がよく使われているのであれば、そのままでもいいと思います。

高島副会長 閉会